



国民年金だより 65歳からもらえる老齢基礎年金。受けるためには、どれくらいの納付が必要？

老齢基礎年金 老齢基礎年金は、原則として25年間(300月)の資格期間を満たした人が、65歳になったときに受けられる年金です。

●次の期間を合計して原則として25年の期間が必要です。

- ①国民年金の保険料を納めた期間
- ②免除(全額免除、一部免除注1)を受けた期間
- ③学生納付特例や若年者納付猶与を承認された期間
- ④厚生年金や共済組合の加入期間
- ⑤第3号被保険者の期間
- ⑥任意加入してきたが加入しなかった期間(合算対象期間注2)

(注1)一部免除の承認を受けても、納付がない場合は未納扱いとなり、受給資格期間に入りません。

注2 合算対象期間とは

年金額の計算には含まれませんが、受給資格期間には算入できます。左の①～⑤の期間の合計が25年に満たない方は次のカラ期間を合算してください。

- ①社員の配偶者で国民年金に任意加入していなかった期間(昭和61年3月以前)
- ②学生で任意加入しなかった期間(平成3年3月以前)
- ③日本人で外国に居住していた期間など

平成25年度老齢基礎年金額は満額で **78万6,500円(年額)** ……20歳から60歳になるまでの40年間の全期間を納めた方

保険料未納や免除の期間がある場合、その期間に応じて減額され、下の式で計算した額が年金額になります。

$$78万6,500円 \times \frac{\text{保険料納付済月数} + \frac{\text{全額免除月数} \times 4}{8} + \frac{\text{4分の1納付月数} \times 5}{8} + \frac{\text{半額納付月数} \times 6}{8} + \frac{\text{4分の3納付月数} \times 7}{8}}{480(40年間 \times 12ヶ月)}$$

※平成21年3月分までは、全額免除は2/6、4分の1納付は3/6、半額納付は4/6、4分3納付は5/6として計算されます。



60歳までに25年の受給資格を満たさない場合は、70歳まで国民年金に任意加入し、25年に達するまで保険料を納付することができます。

※年金の受給資格期間を、これまでの25年(300月)から10年(120月)に短縮する「年金機能強化法」が、消費税の引き上げ実施に合わせて、平成27年10月から施行される予定です。

お問い合わせ 国保年金課 ☎889-1798 または 那覇年金事務所 ☎855-1122

9月10日は下水道の日



なぜ9月10日が「下水道の日」なの？

1年を通して、短い時間に多くの雨が降るのは、8月から10月の台風シーズンです。中でも、9月10日は立春から数えてほぼ220日目にあたり、昔は二百二十日(にひゃくはつか)と呼ばれ、大きな台風が来る日とされていました。大雨に備える特別な日のひとつだったのです。この台風シーズン中の特別な日が下水道の雨水を流すという役割となじみがあるということで、9月10日が「下水道の日」と決められました。

下水道に接続するためには排水設備工事が必要です！

下水道が整備されると、各家庭や事業所の排水設備を下水道へ接続する工事が必要です。そのため、排水工事指定店(町役場指定)への工事依頼をお願いします。なお、南風原町では無利子で工事資金の貸付を受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

工事資金貸付制度

- 貸付金額
一般住宅/1件につき30万円以内
共同住宅/1件につき80万円以内
 - 償還方法
40回以内で毎月均等払い
- 供用開始区域内で下水道未接続の方は、早めに下水道への接続をお願いします。
※供用開始区域とは、下水道工事が終了し下水道に接続できる区域のことです。

平成25年度夏休み下水道体験学習



集合写真(垣花桶川)



神里地区汚水処理施設見学

8月10(土)に夏休み下水道体験学習が行われました。神里地区汚水処理施設やNPO法人のぞみの里を見学し、汚水の処理の仕方や循環型社会について学びました。たくさん学んだ後は垣花桶川(南城市)でみんなで楽しく水遊びをしました。

下水道つなげて安心ちゃー願寿



お問い合わせ

区画下水道課 ☎889-2508

集団健診(検診)のお知らせです



	健診日	受付時間	健診場所	がん検診
日曜健診	9月1日(日)	8:30~10:30	ちむぐる館	○
ナイト健診	10月16日(水)	18:00~19:30		×
	10月30日(水)	18:00~19:30		×

受診に必要なもの ●特定健診受診券(長寿受診券、40歳未満受診券)
●健康保険証 ●がん検診受診券

※ナイト健診では、がん検診は実施していません。

婦人がん集団検診日程



検診日	受付時間	場所
9月/11日(水)、9月18日(水)、9月25日(水)	14:00~15:30	ちむぐる館

検査項目	検査内容	対象年齢	費用負担	予約の有無
子宮がん	頸部細胞診	20歳以上	1,000円	当日受付
乳がん	視触診+マンモ1方向	50歳以上	2,000円	※要予約

※70歳以上の方、市町村民税非課税世帯もしくは生活保護の方は免除です。

受診に必要なもの ●健康保険証 ●がん検診受診券(クーポン券対象の方は、クーポン券も持参してください)

集団健診(検診)についてのお問い合わせ：国保年金課 ☎889-1798

結核予防週間

毎年9月24日~30日の一週間は「結核予防週間」です。

医療の進歩や結核対策の推進等により、国内の患者発生数は減少しておりますが、今でも日本最大の感染症であり、世界的に見て日本は中まん延国といわれています。平成24年、沖縄県においては304名の新たな患者の登録があり、そのうち80歳以上は93人で新登録患者の3割を占めています。これは戦後結核のまん延した時期に感染した人が多いことと関係しています。また、結核集団感染が昨年より中部保健所管内、北部保健所管内及び那覇市保健所管内で各1事例ありました。

一般的に、結核は感染しても免疫機能によって結核菌の増殖は抑えられるため、ただちに発病するわけではありません。感染しても気づかないまま免疫力で自然に治ることもあり、10人が結核に感染した場合、発病するのは1人から2人です。結核菌の増殖は遅いため、感染してから発病するまで早くても数ヶ月かかります。高齢や持病により免疫力が弱まったときに発病するという方が多くなっています。

結核の初期症状はかぜとよく似ていて、次のとおりです。

- ①2週間以上続くせき、たん ②発熱 ③血の混じったたん ④胸痛 ⑤だるさ ⑥体重減少

結核の早期発見は、本人の重症化を防ぐだけでなく、大事な家族や職場等への感染拡大を防ぐためにも重要です。結核予防・早期発見のためには

- (1) 免疫力の低下を防ぐため、規則正しい生活と健康管理を行いましょう。
- (2) 赤ちゃんには生後5~8ヶ月の間にBCG接種を受けさせましょう。
- (3) かぜに似た症状があれば、早めに医療機関を受診しましょう。高齢者の方は症状がわかりにくいこともありますので、自己判断せず、早めの受診を心がけましょう。
- (4) 年に一度は健康診断(胸部X線検査)を受けましょう。



結核の治療は、現在結核に良く効く薬ができ、3~4種類の薬を6~9ヶ月毎日きちんと飲めば治るようになりました。また、たんに菌が出ていない状態であれば他の人へは感染しないので、外来通院での治療が可能です。

早期発見・早期治療と確実な服薬が治療成功のポイントです。

結核に関するお問い合わせ：沖縄県南部保健所 健康推進班 結核相談室 ☎889-6591